

第78号

2021年12月
認定特定非営利活動法人

麦の会

TEL&FAX 022-299-1279

〒983-0834 仙台市宮城野区松岡町17-1 郵便振替口座 02200-8-46178

E-mail : muginokai@k5.dion.ne.jp <https://www.muginokai-koppe.com>

目次	みらいの福祉施設建築プロジェクトに応募しました	飯嶋 茂	… 1p
	みらいの福祉施設建築プロジェクトに挑んで	サトウジュンコ	… 2p
	自己紹介	落合 佑太	… 3p
	JOKA 東北を見学して	高橋 秀幸	… 5p
	新聞記事より		… 6p
	漢字のかみさま③	神品 暖子	… 7p
	絆	阿部 央希	… 8p

日本財団 みらいの福祉施設建築プロジェクト2021に応募しました。
・・・結果は、残念ながら「不採択」でした。

飯嶋 茂

次ページに麦の会の会員でもある佐藤順子さんの原稿を載せていますが、「日本財団 みらいの福祉施設建築プロジェクト2021」に応募しました。

これは「地域社会に貢献し、地域社会から愛され、地域福祉の拠点となる社会福祉施設をめざして、事業実施団体と設計者の協働による建築デザイン提案を含む建築関連助成事業を募集するもの」（募集要項より）です。

助成の上限額は、3億円、補助率も100%です。すごいとしか言いようのない額ですよ。こんなものに応募するなんてもちろん麦の会単独ではできません。

佐藤順子さんは重度の障害がありながら、ずっと地域の中で生活してきました。築き上げてきた「つながり」はかなりのものです。自宅を「開放」してもっと多くの人が集まる場を作りたいという「夢」は以前からお聞きしていました。協力したいとは思いつつ「先立つものがね」・・・で止まっていました。

今回の応募にあたっては、順子さんの夢に、麦の会の事業をどう重ねたらいいかを考えました。コッペは「共に働く場」として活動してきましたが、30年の時を経て、働いている障害メンバーは年齢も上り、ゆったりと過ごせる場、親元から離れて生活できる場の確保も課題となっています。審査を通過していたら、地域とつながりながらゆったり働く場と自立生活体験室等もできる設計でした。

現実はいきびしいし、力不足ですかね。それでも順子さん、今回関わっていただいた設計関係の皆さんと、今後も何ができるのか話し合っていきたいと思っています。

「日本財団みらいの福祉施設建築プロジェクト2021」に挑んで

サトウジュンコ

このプロジェクトの知らせが私のもとに届いたのは、今年2021年6月の中旬、2019年5月に父が他界し、埼玉在住の兄と、父の残したものについての手続きが一段落し、コロナ禍で在宅時間も増え、私は自分のこれからについてあれこれ考える時間が増えている時期でした。

父が長年、留学生家族に部屋を提供していたので、おかげさまで私は自宅に居ながら日本以外の生活文化も感じることの出来る環境で過ごして来ました。私は、大学卒業後すぐに、自宅下の車庫を改修して英語教室を始めたので、私の家は、多種多様な人々が入り出す賑やかな家でした。

2006年、教室運営も私の日常生活もサポートしていた母が突然亡くなり、その後、私も体調を崩し、20年と少し運営してきた英語教室は閉じてしまいました。

介助者の方々に日常を支えて頂きながら高齢の父との暮らしていく中で、階下の教室は物置部屋と化してしまいました。いつか教室をきれいにして、みんなでお勉強をしたり、お茶飲みをしたり、友だちも、近所の人も、障害がある人も、ない人も、集まれる場所にしたいと、ずっと思ってきました。

いま私の寝起きしている家の上の階は、敷地に入っすぐ20メートルのスロープを上り、その先に玄関があります。英国マンデヴィル病院を見学した建築家である私の父が、その明るさに感銘を受けて、43年前にデザインした日当たりの良い建物です。屋内も車イスで動き回ることができ、朝日の当たるキッチンからの眺めが良くて、独りで住むにはもったいないところです。

もともと賑やかなところが好きな私は、アパート探しに苦労している障害を持つ友人達と話す機会もあり、障害者がそれぞれ自分に合った生活スタイルに合った介助を受けられるシェアハウスが出来たらなあという漠然とした思いがありました。

ジュース屋さんや貸し教室、サロンやシェアハウス、いろんな可能性を詰め込んだ夢を「ジュンコの夢構想」として福祉にたずさわる方々や次世代の若き障害者とその家族に話していくうちに「あとは資金だね」という話になってきました。

そんな折、舞い込んだのが「日本財団みらいの福祉施設建築プロジェクト」のお知らせです。このプロジェクトは、福祉事業者と建築設計者が協働で提案

するこれからの福祉施設建築、新築だけでなく、改築や改修も支援する助成事業でした。

しかし、応募締切は10月15日、応募するための設計や図面作成と建築費用、事業計画などの資料作成があり、まだ設計士さんも決まっていないのに、あと3ヶ月ちょっと、応募できるなんて、夢のようでした。

麦の会・飯嶋さんと普段からお世話になっている不動産コンサルタントの長谷川さんに応募要項などお伝えして、一級建築士事務所の早坂さん、リフォームインテリアコーディネーターの澁谷さん玉田さんに加わって頂き、麦の会と共育を考える会から猪俣さんや門間先輩、また介助の方々にも現場の声をお聞かせ頂きながら、何度も話し合いをして、お休み返上の方も多かったと思いますが、書類作成に大変ご尽力いただきました。

結果を申し上げれば、ザンネン...今回のプロジェクト2021の第一審査で、私の夢2021は不採択という知らせがつい先日12月9日に私のところにも届きました。

応募総数472事業、第一審査通過は20件とのこと、そこから更に10事業ほどにしぼられるようです。その結果もまた楽しみで勉強になります。20件の事業名を見て、きっかけは私達と同じようなアイデアだとしても、明確な事業としての覚悟って伝わるんだなあ、人に伝える実績の提示が必要なんだなあ、と学ぶことしきりでした。夢がふわりとみんなの注目を集めるためには、地上に根を下ろした緻密な計画で夢を支える柱がないと応援も得られないのだなあというのが今現在の思いです。

しかしながら、6月にお知らせを読んでから12月に結果が判るまでの期間、我が家について多くの方に関わって頂いて、お話ししたり、アイデアを出し合ったり、自分だけでなく、兄や専門家の方々の考えを客観的に聞く機会を得られたり、夢はこうして実現化していくんだなとワクワクを楽しむことが出来ました。

そして再検討する点は多々あります。「建築が変わり、福祉が変わり、まちが変わる」がテーマのこのプロジェクトにまた挑むのであれば、私自身もっと勉強をして、変わらなければなりません。再挑戦するか、もっと身の丈に合った方針を立て直すか、しばらくの間またいろんな方々と考えていきたいと思っています。

<自己紹介>

名前 落合 佐太

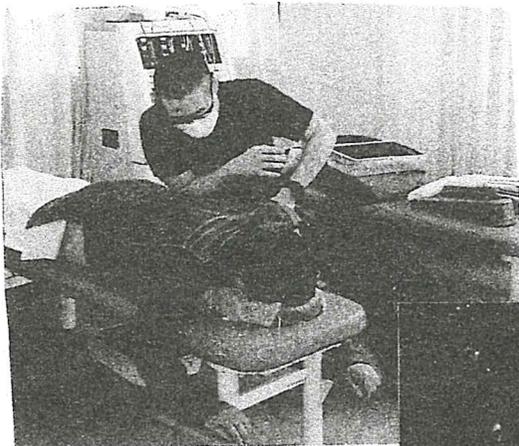
生年月日 平成2年9月3日

血液型 A型

得意なこと 料理

好きな食べ物 ラーメン、チャーハン

嫌いな食べ物 フナもの



(整骨院での
月2回のマッサージ中)

11月よりお世話になってお
り、相談員の方よりコンビニの話し
を頂いたので、佐太は無理な
ほど、私の気持ちも今更
なほど、この足正踏んぱ
したか。"佐太さん、今更
なほど、お世話になってお
り、相談員の方より、お
話、聞いておりました。
これからよろしくお願ひし
ます。母より

<一言>

パン、クッキーを作りが

が大好きです。

よろしくお願ひします。

<経歴>

2009年3月 鶴ヶ谷特別支援学校 高等部 卒業

2009年4月 株式会社荒浜

現在 仙教の社 株式会社

2018年3月 エルマサポートセンター

(福祉用具の洗浄、消毒)
- (特定敷地内の清掃)



(12月4日 佐太の作った、ラーメン、チャーハン、
セットです。)

Joka東北(亀塚温泉)見学して

Joka東北(亀塚温泉)は東北本線
岩沼駅から仙台方面へ4~5分歩いて行く
とJoka東北(亀塚温泉)です。

Joka東北(亀塚温泉)は

1F 生活介護、放課後デイ、保育所

2F 就労継続支援A型として

天然日帰り温泉、そば屋さん、フィットネスクラブ

高齢者のデイサービスもありました。

施設内はバリアフリーで車椅子でも

自由に移動ができる内装で家族でゆくりくつろげる

世界各国の様々な人が日本を訪れる時代

国籍にかかわらず一緒にいるそんなコミュニティを

目指した内装です。

世代の違い、障害の有無も国籍の区別も

それらを「ごちゃませ」にして地域で暮らす

コミュニティづくりをしている施設です。

高橋 秀幸

障害者手掛けた野菜や手芸品販売

14/6
17/11

仙台市主催「ふれあい製品フェア」

積極出店中

障害者が育てた野菜や手掛けた手芸品などを販売する仙台市主催の「ふれあい製品フェア」が開催地を増やしている。15年続く勾当台公園市民広場（青葉区）に加え、昨年7月からは市地下鉄仙台駅（同区）にも出店。今年11月は商業施設ララガーデン長町（太白区）でも開いた。新型コロナウイルスの影響で、障害者製品の販売機会は大きく減った。積極出店で工賃向上と販路拡大を狙う。

「ふれあい製品販売会」は、市は今後も定期的に開催する。11月17、18日に「ふれあい製品販売会」は、市は今後も定期的に開催する。11月17、18日に「ふれあい製品販売会」は、市は今後も定期的に開催する。

「ふれあい製品販売会」は、市は今後も定期的に開催する。11月17、18日に「ふれあい製品販売会」は、市は今後も定期的に開催する。

「ふれあい製品販売会」は、市は今後も定期的に開催する。11月17、18日に「ふれあい製品販売会」は、市は今後も定期的に開催する。

地下鉄駅や長町でも開催



焼き菓子や雑貨を買い求める客でにぎわった「ふれララ」=11月17日、仙台市太白区のララガーデン長町

は、新たなお客さんに商品を知ってもらう機会になり、うれしい」と喜んだ。ふれあい製品フェアは2006年9月、市民広場で始まった。冬季を除いて月1回開催し、15年の歴史を重ねる。各区役所などを会場とした展示販売会も平日はほぼ連日開いている。

「ふれあい製品販売会」は、市は今後も定期的に開催する。11月17、18日に「ふれあい製品販売会」は、市は今後も定期的に開催する。

工賃増、販路拡大狙う

「ふれあい製品販売会」は、市は今後も定期的に開催する。11月17、18日に「ふれあい製品販売会」は、市は今後も定期的に開催する。

今月の暖子さん

仕事・漢字を頑張っています。

環境問題	公害対策	自然川保護	焼却工場	再生利用	地球温暖化	酸性雨	オゾン二層保護	紫外線予防	帽子着用	森林保全	二酸化炭素	温室効果	異常気象	南極大陸
環境問題	公害対策	自然川保護	焼却工場	再生利用	地球温暖化	酸性雨	オゾン二層保護	紫外線予防	帽子着用	森林保全	二酸化炭素	温室効果	異常気象	南極大陸
環境問題	公害対策	自然川保護	焼却工場	再生利用	地球温暖化	酸性雨	オゾン二層保護	紫外線予防	帽子着用	森林保全	二酸化炭素	温室効果	異常気象	南極大陸
環境問題	公害対策	自然川保護	焼却工場	再生利用	地球温暖化	酸性雨	オゾン二層保護	紫外線予防	帽子着用	森林保全	二酸化炭素	温室効果	異常気象	南極大陸

糸半

阿部 央希

いつも 土日^羽日と日^羽日になると

遊^存びに来てくれます。とても嬉しい

です。本当に良かったと思っています

ずっとこのままとても楽しんで糸者に

遊^存んでいきます。糸は皆と一緒に

夕食食べて所です。うれしいです

命かけて大事にするのは基本です。

支えて そして 生男っ子いるし大事する